

## 家畜衛生ニュース

平成29年1月号

愛知県東部家畜保健衛生所

年末・年始及び春節における口蹄疫等に関する防疫対策の強化について

日本での口蹄疫の発生は平成22年の宮崎県の事例以降確認されておりませんが、日本の近隣諸国においては、引き続き口蹄疫や豚コレラといった家畜伝染病が発生しており、中国やロシアでは、口蹄疫（O血清型）の発生が、最近も継続して確認されています。（ロシア ザバイカリエ地方における口蹄疫（O型）の発生、発生日：2016年12月14日：牛。中国 江西省九江市における口蹄疫（O型）の発生、発生日：2016年11月15日：豚）

このような中、日本への訪日外国人旅行者数は年々増加しており、平成28年11月には約2,199万人に達し、対前年同期比で22.4%増加しています。

年末・年始及び春節（1月28日）を迎えるに当たり、今後、特にアジア地域における人・物の移動が盛んになることが見込まれることから、日本への口蹄疫等の家畜伝染病のウイルスが侵入するリスクは依然として極めて高い状況にあると考えられ、十分に注意する必要があります。

つきましては、改めて口蹄疫等に関する情報をご確認いただき、国内における口蹄疫等の発生を防ぐため、飼養衛生管理基準を今一度見直しいただき、口蹄疫等の発生予防対策に万全を期すようお願いいたします。